



いよいよ、田植えシーズンです。
そこで今回は、水田除草剤をおすすめします。



営農経済課
藤井 拓也

「雑草をいかに抑えるか」これは農家さんにとって、大きな悩みの一つです。近年では、省力型の農薬が多く販売されており、ジャンボ剤は、次世代農業に欠かせない剤形の一つです。

ジャンボ剤の特徴は、手で簡単に散布できる事です。
動力散布機などの機械を使用せず、畦畔から投げ入れるだけなので、**散布時間**と**労力**の軽減が可能です。

そこで今回は、JA オススメの水稲用除草剤（投げ込み剤）

- ①雑草を白く枯らす事で有名な、「**エーワン ジャンボ**」
- ②除草効果の発現が早い、「**イネキング ジャンボ**」

以上の2剤をご紹介します。

除草剤

ホクコー
エーワン ジャンボ

10アール用 (300g) **3,164** 円(税込)

30アール用 (900g) **8,618** 円(税込)

【特長・上手な使い方】

- ▶新規成分テフリルトリオン配合で、雑草を白く枯らします。
- ▶頑固な雑草 『コナギ』『ホタルイ』などにも効果的。
- ▶田植後7日前後を目安に散布しましょう。

※ごくまれに稲自身が白くなることがあります。しかし、生育・収量にはほとんど影響ありません。



除草剤

イネキング[®] ジャンボ

10アール用 (500g) **3,294** 円(税込)

【特長】

- ▶効果の発現が早く、抵抗性雑草にも効果的です。
- ▶田植1日後から、処理が可能で使いやすい。
- ▶畦畔からの侵入雑草に対しても高い効果が期待できます。
- ▶移植後1日～10日での使用がオススメです！

※価格は当時のものとなります。